



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年4月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ブルボン

コード番号 2208 URL <https://www.bourbon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 匡慶

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務管理部長 (氏名) 間島 孝弘

TEL 0257-23-2333

定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日

2026年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2026年6月19日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	120,303	6.0	7,496	0.3	8,004	5.5	5,913	6.2
2025年3月期	113,475	9.4	7,470	96.1	7,585	77.1	5,566	81.2

（注）包括利益 2026年3月期 6,645百万円（21.5%） 2025年3月期 5,470百万円（54.9%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	244.61	—	9.2	8.1	6.2
2025年3月期	231.17	—	9.4	8.0	6.6

（参考）持分法投資損益 2026年3月期 12百万円 2025年3月期 55百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	101,410	67,207	66.3	2,780.37
2025年3月期	95,839	61,492	64.2	2,543.62

（参考）自己資本 2026年3月期 67,207百万円 2025年3月期 61,492百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	9,280	△4,371	△1,515	20,826
2025年3月期	6,527	△6,475	△2,227	17,391

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金 総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	18.50	—	18.50	37.00	891	16.0	1.5
2026年3月期	—	20.00	—	22.00	42.00	1,015	17.2	1.6
2027年3月期(予想)	—	22.00	—	22.00	44.00		25.9	

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	56,600	6.9	1,300	△12.5	1,400	△10.8	900	△20.2	37.23
通期	126,600	5.2	5,800	△22.6	6,000	△25.0	4,100	△30.7	169.62

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年3月期	27,700,000株	2025年3月期	27,700,000株
2026年3月期	3,527,944株	2025年3月期	3,524,794株
2026年3月期	24,173,481株	2025年3月期	24,078,962株

（参考）個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	116,073	6.3	7,358	1.3	7,738	3.6	5,660	4.0
2025年3月期	109,213	9.2	7,265	103.6	7,468	69.4	5,444	67.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	234.17	—
2025年3月期	226.12	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	100,265	66,763	66.6	2,762.02
2025年3月期	94,678	61,280	64.7	2,534.87

（参考）自己資本 2026年3月期 66,763百万円 2025年3月期 61,280百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等の注記)	13
(1株当たり情報の注記)	13
(重要な後発事象の注記)	13
4. 個別財務諸表	14
(1) 貸借対照表	14
(2) 損益計算書	17
(3) 株主資本等変動計算書	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、米国通商政策の動向など景気下押しリスクが存在したものの、好調な企業収益や所得環境の改善を背景として、おおむね緩やかな回復基調が続きました。一方で、期末にかけて中東情勢の緊迫化により、世界経済の不透明感が急速に高まりました。

菓子・飲料・食品業界は、原材料調達価格の高止まりや各種コスト上昇への対応に加え、消費者の生活防衛意識が長引く環境下で、節約志向への対応が求められました。

このような中、当社グループでは食品製造企業として品質保証第一主義に徹し、安全で安心な実質価値の高い商品の安定した供給と、消費者ニーズにお応えしたサービスの提供など、顧客満足度の向上に向けた活動を一貫して推進しました。具体的には、商品ブランドの展開拡大ならびに機能性の付加や希少な原料を使用した商品展開などにより、多様化するニーズへの対応を図りました。

その結果、価格改定の影響が残ったチョコレート品目や競争激化の影響からキャンデー品目が伸び悩んだものの、主力のビスケット品目や品揃え強化に取り組んだ豆菓子品目ならびにスナック品目などが順調に推移したことから、売上高は前期を上回り、過去最高売上高を更新しました。利益面では、生産性の向上とコストの削減、経費の効率的な使用に継続して努めたことに加え、売上高の伸張等により、営業利益、経常利益ならびに親会社株主に帰属する当期純利益は、前期を上回り過去最高益となりました。

営業品目別の概況

菓子の合計売上高は、115,244百万円（対前期比105.8%）となりました。

菓子では、ビスケット品目を中心として、豆菓子、キャンデー、デザート、米菓、スナック、チョコレートなどの品目を展開しています。

ビスケット品目は、シガレットタイプのラングドシャクッキー「ルーベラ」を3年ぶりに再発売するとともに、CM投入も行い“オリジナルビスケット”シリーズ全体で拡売を図りました。さらには、クラウンメロンや矢野目の塩、安納芋に和栗、ブランドいちごや宇治抹茶を使用した季節商品や催事に合わせた商品を展開し、品目の底上げと売場の活性化に取り組みました。選ぶ楽しさを提供するプチシリーズは、新商品の展開ならびに各種プロモーションによる認知拡大を図るとともに、積極的な売場展開に取り組むご支持をいただきました。ほかにも、東京おかしランドでのポップアップ出店やコンセプトショップ「Un BOURBON（アン・ブルボン）」の新潟県外への催事出店などブランド認知の向上に取り組む、品目全体でも順調に推移しました。

チョコレート品目は、当社のロングセラー商品「ホワイトロリータ」を食べやすいサイズにした「ひとくちホワイトロリータ」を発売し、「ひとくちルマンド」等の既存品とともに拡売を図りました。また、“アルフォートミニチョコレート”シリーズでは、プロモーションによるブランド強化とともに、いちごやチーズのリッチな味わいを楽しめる商品など季節に合わせた商品展開を実施しました。さらには、カカオ原料価格が高止まりする中、「プレツェルショコラ」や「サクつぶビット」のような、多様なカテゴリーを活用したコンビネーション商品などバラエティ豊かな商品開発に努めました。品目全体では、価格改定の影響で既存の大袋商品が伸び悩んだものの、前期並みの推移となりました。

キャンデー品目は、“フェットチーネグミ”シリーズで、期間限定商品やルーツ限定商品の発売、さらには独自の製法を応用した2列構造の商品を展開し品揃えの強化に努めました。加えて、“フェットチーネグミ”シリーズ発売15周年を記念し、本社所在地である柏崎市の高校生とともに作り上げた特別なCM展開などのプロモーションを実施し、ブランド認知向上を図りました。また、気温が上昇する時期に合わせて、「ミネラル塩飴」の展開強化に努めたほか、ミネラル分が補給できる小袋タイプのタブレット商品を発売し、品揃えの充実を図りました。しかしながら品目全体では、競争激化の影響から既存品が伸び悩んだことにより前期を下回りました。

菓子全体の売上高は、伸び悩んだ品目があったものの、ビスケット品目に加え、“味ごのみ”などの豆菓子品目や“ピッカラ”などのスナック品目で品揃えの強化に取り組む順調に推移したことから、前期を上回りました。

飲料・食品・冷菓・その他の合計売上高は、5,058百万円（対前期比112.0%）となりました。

飲料品目は、新潟県村上市で収穫された茶葉を使用した「雪澄み茶」を発売したほか、当社のロングセラー商品の味わいをイメージしたミルク風味の缶飲料「ホワイトロリータドリンク缶180」を発売し活性化を図りました。また、防災意識の高まりによる備蓄需要やキャラクターをデザインしたボトルが好評をいただいたことで、ミネラルウォーター商品群が順調に推移しました。

食品品目は、品質・価格などの実質価値の高さが評価され粉末ココア商品にご支持をいただきました。また、簡便・時短ニーズに対応した食品シート“かんたんクッキング”シリーズでは、焼き芋の味わいやバターの風味を楽しめる商品を展開し、拡売を図りました。機能性食品では、「スローバークドショコラケーキ」を発売し“スローバーク”シリーズの品揃えを拡充しました。さらには、不足しがちなカルシウムや鉄分を補える“しっとりソフトクッキー”にもご支持をいただきました。

冷菓品目は、“ルマンドアイス”シリーズで、宇治抹茶や新潟県産のブランドさつまいもを使用した商品ならびにルート限定商品を発売し活性化を図りました。加えて、高知県産のしょうがの味わいが楽しめるカップアイスを展開するなど、品揃えの強化に取り組みしました。

その他では、通信販売事業は、季節や催事に合わせた詰合せ商品やオリジナル企画など、メーカーならではの品揃えにより買い上げ点数の増加を図るとともに、サービス品質の向上を進め、リピーターの増加と継続的な販路拡大に取り組みしました。

自動販売機事業は、設置場所の見直しを行うとともに電子マネーへの対応を進め、自動販売機1台当たりの収益性や利便性の向上に取り組んだほか、交通拠点や学校関連施設を中心に新規開拓に努め、売上の底上げを図りました。

酒類販売事業は、エチゴビール那須工場の初醸造商品「笑顔が集う輝きビール」や季節に合わせた限定醸造商品を積極的に展開したことに加え、輸出商品が順調に推移しました。

飲料・食品・冷菓・その他全体の売上高は、前期を上回りました。

以上の営業活動により業績の向上に努めてまいりました結果、当連結会計年度の売上高は120,303百万円（対前期比106.0%）、営業利益は7,496百万円（対前期比100.3%）、経常利益は8,004百万円（対前期比105.5%）、親会社株主に帰属する当期純利益は5,913百万円（対前期比106.2%）となりました。

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における流動資産は52,055百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,761百万円増加となりました。これは主に、現金及び預金の増加および原料高騰による原材料及び貯蔵品の増加があったことによるものです。固定資産は49,354百万円となり、前連結会計年度末に比べ190百万円減少となりました。

この結果、総資産は101,410百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,570百万円増加となりました。

（負債）

当連結会計年度末における流動負債は26,590百万円となり、前連結会計年度末に比べ705百万円増加となりました。これは主に、1年内償還予定の社債および未払費用の増加があったことによるものです。固定負債は7,612百万円となり、前連結会計年度末に比べ849百万円減少となりました。これは主に、退職給付に係る負債および長期借入金の減少があったことによるものです。

この結果、負債合計は34,202百万円となり、前連結会計年度末に比べ144百万円減少となりました。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産は67,207百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,714百万円増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上と剰余金の配当があったことによるものです。

この結果、自己資本比率は66.3%（前連結会計年度末64.2%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は20,826百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,434百万円増加となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は9,280百万円（前期6,527百万円の収入、対前期比142.2%）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益7,971百万円および減価償却費5,491百万円と法人税等の支払額2,145百万円および棚卸資産の増加額1,698百万円があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は4,371百万円（前期6,475百万円の支出、対前期比67.5%）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出4,114百万円があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1,515百万円（前期2,227百万円の支出、対前期比68.0%）となりました。これは主に、配当金の支払額930百万円および長期借入金の返済による支出310百万円があったことによるものです。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率（%）	63.4	61.1	59.9	64.2	66.3
時価ベースの 自己資本比率（%）	64.9	58.6	61.0	64.0	76.8
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率（年）	0.0	2.4	0.5	0.5	0.3
インタレスト・ カバレッジ・レシオ（倍）	1,669.7	249.0	703.3	234.6	239.3

自己資本比率：自己資本 ÷ 総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額 ÷ 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債 ÷ キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー ÷ 利払い

（注）1. 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

4. キャッシュ・フローおよび利払いは連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」および「利息の支払額」を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の経済環境につきましては、賃上げによる所得環境の一層の改善が期待されるものの、混迷する中東情勢の長期化およびそれに伴う原油・エネルギー価格の変動に加え、為替相場や物価動向の推移など、先の見通しが難しい状況で推移するものと見込まれます。

菓子・飲料・食品業界においては、原材料・エネルギー価格ならびに物流費などの各種コストの上昇が継続する見通しの中、不安定な調達環境に加え労働人口減少への対応、さらには、消費者の節約志向や高付加価値志向など、消費の多様化への対応が求められると考えられます。

このような状況下で当社は、経営理念である「利害相反する人を含めて、集団の生存性を高める」のもと、品質保証第一主義に徹した安全で安心な商品の安定的な供給と、消費者ニーズに沿った高品質でお求めやすい価格の商品開発およびブランドの育成強化に努めるとともに、新たに2027年3月期から2029年3月期までの中期経営計画を策定し、当社グループ一丸となって事業の拡大に向けた取り組みを進めてまいります。

2027年3月期連結業績については、売上高は126,600百万円（対前期比105.2%）、営業利益は5,800百万円（対前期比77.4%）、経常利益は6,000百万円（対前期比75.0%）、親会社株主に帰属する当期純利益は4,100百万円（対前期比69.3%）と想定しております。

なお、次期の業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,391	20,844
受取手形	88	101
売掛金	14,682	15,056
商品及び製品	5,341	5,643
仕掛品	790	1,137
原材料及び貯蔵品	7,440	8,508
その他	563	773
貸倒引当金	△3	△9
流動資産合計	46,294	52,055
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	39,967	41,489
減価償却累計額	△22,553	△23,813
建物及び構築物（純額）	17,414	17,676
機械装置及び運搬具	66,227	68,607
減価償却累計額	△53,032	△55,607
機械装置及び運搬具（純額）	13,194	13,000
工具、器具及び備品	5,348	5,475
減価償却累計額	△4,967	△5,131
工具、器具及び備品（純額）	381	344
土地	6,772	7,175
リース資産	927	1,331
減価償却累計額	△452	△585
リース資産（純額）	474	746
建設仮勘定	2,411	1,029
有形固定資産合計	40,649	39,971
無形固定資産		
のれん	519	405
ソフトウェア	924	806
その他	63	63
無形固定資産合計	1,507	1,275
投資その他の資産		
投資有価証券	4,331	5,519
繰延税金資産	2,315	1,817
その他	741	771
投資その他の資産合計	7,388	8,108
固定資産合計	49,545	49,354
資産合計	95,839	101,410

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,169	12,059
短期借入金	500	500
1年内返済予定の長期借入金	310	310
1年内償還予定の社債	—	300
リース債務	175	299
未払金	2,482	2,576
未払費用	6,496	6,775
未払法人税等	1,747	1,646
賞与引当金	1,477	1,582
その他	526	538
流動負債合計	25,884	26,590
固定負債		
社債	300	—
長期借入金	2,055	1,745
リース債務	346	519
繰延税金負債	529	537
役員退職慰労引当金	288	297
退職給付に係る負債	4,934	4,506
負ののれん	7	5
固定負債合計	8,462	7,612
負債合計	34,347	34,202
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,036	1,036
資本剰余金	7,108	7,108
利益剰余金	53,947	58,930
自己株式	△903	△903
株主資本合計	61,189	66,171
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	957	1,724
為替換算調整勘定	△961	△1,162
退職給付に係る調整累計額	306	473
その他の包括利益累計額合計	303	1,035
純資産合計	61,492	67,207
負債純資産合計	95,839	101,410

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	113,475	120,303
売上原価	84,350	89,943
売上総利益	29,125	30,359
販売費及び一般管理費	21,654	22,863
営業利益	7,470	7,496
営業外収益		
受取利息	12	36
受取配当金	83	90
持分法による投資利益	55	12
受取賃貸料	17	17
受取ロイヤリティー	32	9
為替差益	—	289
負ののれん償却額	1	1
その他	70	114
営業外収益合計	273	572
営業外費用		
支払利息	27	38
減価償却費	17	12
賃貸収入原価	8	7
為替差損	96	—
その他	7	4
営業外費用合計	158	64
経常利益	7,585	8,004
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	483	64
その他	2	—
特別利益合計	485	65
特別損失		
固定資産処分損	26	53
減損損失	34	7
投資有価証券評価損	22	37
100周年記念事業費	304	—
その他	2	—
特別損失合計	391	97
税金等調整前当期純利益	7,680	7,971
法人税、住民税及び事業税	2,199	1,964
法人税等調整額	△85	94
法人税等合計	2,113	2,058
当期純利益	5,566	5,913
親会社株主に帰属する当期純利益	5,566	5,913

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	5,566	5,913
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△255	767
為替換算調整勘定	66	△201
退職給付に係る調整額	92	166
その他の包括利益合計	△95	732
包括利益	5,470	6,645
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	5,470	6,645
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,036	6,790	49,150	△941	56,035
当期変動額					
剰余金の配当			△768		△768
親会社株主に帰属する 当期純利益			5,566		5,566
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		317		38	356
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	317	4,797	38	5,154
当期末残高	1,036	7,108	53,947	△903	61,189

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,212	△1,027	213	398	56,434
当期変動額					
剰余金の配当					△768
親会社株主に帰属する 当期純利益					5,566
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					356
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△255	66	92	△95	△95
当期変動額合計	△255	66	92	△95	5,058
当期末残高	957	△961	306	303	61,492

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,036	7,108	53,947	△903	61,189
当期変動額					
剰余金の配当			△930		△930
親会社株主に帰属する 当期純利益			5,913		5,913
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	－	4,982	△0	4,982
当期末残高	1,036	7,108	58,930	△903	66,171

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	957	△961	306	303	61,492
当期変動額					
剰余金の配当					△930
親会社株主に帰属する 当期純利益					5,913
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	767	△201	166	732	732
当期変動額合計	767	△201	166	732	5,714
当期末残高	1,724	△1,162	473	1,035	67,207

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	7,680	7,971
減価償却費	5,286	5,491
のれん償却額	114	114
受取利息及び受取配当金	△95	△127
負ののれん償却額	△1	△1
支払利息	27	38
持分法による投資損益 (△は益)	△55	△12
為替差損益 (△は益)	74	△272
投資有価証券売却損益 (△は益)	△483	△64
固定資産処分損益 (△は益)	26	52
減損損失	34	7
投資有価証券評価損益 (△は益)	22	37
売上債権の増減額 (△は増加)	45	△377
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,014	△1,698
仕入債務の増減額 (△は減少)	△758	△121
未払費用の増減額 (△は減少)	△55	253
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△18	8
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△183	△185
その他	△724	224
小計	7,921	11,338
利息及び配当金の受取額	95	127
利息の支払額	△27	△38
法人税等の支払額	△1,461	△2,145
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,527	9,280
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,821	△4,114
投資有価証券の取得による支出	△461	△122
投資有価証券の売却による収入	1,069	73
関係会社出資金の払込による支出	—	△44
その他	△262	△162
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,475	△4,371
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,500	—
長期借入金の返済による支出	△310	△310
社債の発行による収入	298	—
社債の償還による支出	△100	—
リース債務の返済による支出	△202	△273
配当金の支払額	△768	△930
自己株式の売却による収入	356	—
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,227	△1,515
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	39
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,183	3,434
現金及び現金同等物の期首残高	19,575	17,391
現金及び現金同等物の期末残高	17,391	20,826

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社グループの事業は、食品製造企業として同一セグメントに属する、ビスケット類、米菓類等の菓子及び飲料食品等の食料品の製造・販売並びにこれらの付随業務であり、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	2,543円62銭	2,780円37銭
1株当たり当期純利益	231円17銭	244円61銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	5,566	5,913
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	5,566	5,913
普通株式の期中平均株式数(千株)	24,078	24,173

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,362	19,762
受取手形	88	101
売掛金	14,334	14,662
商品及び製品	5,170	5,429
仕掛品	766	1,100
原材料及び貯蔵品	7,107	8,233
前払費用	395	421
短期貸付金	1,426	1,460
未収入金	441	519
その他	84	174
貸倒引当金	△1,306	△1,310
流動資産合計	44,871	50,554
固定資産		
有形固定資産		
建物	35,890	37,200
減価償却累計額	△19,489	△20,597
建物（純額）	16,401	16,603
構築物	3,544	3,707
減価償却累計額	△2,545	△2,652
構築物（純額）	998	1,054
機械及び装置	64,664	66,933
減価償却累計額	△51,633	△54,104
機械及び装置（純額）	13,030	12,828
車両運搬具	314	334
減価償却累計額	△260	△280
車両運搬具（純額）	54	53
工具、器具及び備品	5,064	5,173
減価償却累計額	△4,718	△4,858
工具、器具及び備品（純額）	346	314
土地	6,753	7,156
リース資産	892	1,292
減価償却累計額	△435	△572
リース資産（純額）	456	720
建設仮勘定	2,411	1,029
有形固定資産合計	40,452	39,760
無形固定資産		
のれん	468	364
ソフトウェア	918	804
その他	62	62
無形固定資産合計	1,449	1,230

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	3,152	4,301
関係会社株式	1,095	1,095
出資金	2	2
関係会社出資金	0	44
関係会社長期貸付金	3,059	3,180
長期前払費用	305	317
繰延税金資産	2,452	2,034
その他	343	328
貸倒引当金	△2,505	△2,585
投資その他の資産合計	7,905	8,719
固定資産合計	49,807	49,711
資産合計	94,678	100,265

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,795	11,662
短期借入金	500	500
1年内返済予定の長期借入金	299	299
1年内償還予定の社債	—	300
リース債務	168	291
未払金	2,440	2,541
未払費用	6,231	6,545
未払法人税等	1,724	1,637
預り金	477	466
賞与引当金	1,438	1,540
その他	9	16
流動負債合計	25,086	25,801
固定負債		
社債	300	—
長期借入金	2,009	1,710
リース債務	333	500
退職給付引当金	5,372	5,185
役員退職慰労引当金	288	297
負ののれん	7	5
固定負債合計	8,311	7,700
負債合計	33,397	33,501
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,036	1,036
資本剰余金		
資本準備金	52	52
その他資本剰余金	10,305	10,305
資本剰余金合計	10,358	10,358
利益剰余金		
利益準備金	259	259
その他利益剰余金		
別途積立金	25,030	25,030
繰越利益剰余金	25,134	29,864
利益剰余金合計	50,423	55,153
自己株式	△1,475	△1,475
株主資本合計	60,343	65,073
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	937	1,690
評価・換算差額等合計	937	1,690
純資産合計	61,280	66,763
負債純資産合計	94,678	100,265

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	109,213	116,073
売上原価		
商品及び製品期首棚卸高	4,897	4,916
当期商品仕入高	325	414
当期製品製造原価	81,538	87,609
合計	86,761	92,939
他勘定振替高	648	755
商品及び製品期末棚卸高	4,972	5,451
棚卸資産廃棄損及び評価損	55	35
売上原価合計	81,196	86,768
売上総利益	28,016	29,305
販売費及び一般管理費		
販売促進費	622	620
運送費及び保管費	8,558	9,351
広告宣伝費	1,964	1,920
給料及び手当	3,670	3,794
賞与引当金繰入額	323	346
退職給付費用	138	141
減価償却費	507	640
のれん償却額	104	104
その他	4,860	5,027
販売費及び一般管理費合計	20,750	21,947
営業利益	7,265	7,358
営業外収益		
受取利息	24	64
受取配当金	80	87
受取賃貸料	82	114
受取ロイヤリティー	78	52
貸倒引当金戻入額	32	—
為替差益	—	191
負ののれん償却額	1	1
その他	61	103
営業外収益合計	362	616
営業外費用		
支払利息	26	34
賃貸収入原価	70	102
貸倒引当金繰入額	—	78
為替差損	37	—
その他	24	20
営業外費用合計	159	236
経常利益	7,468	7,738

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	483	64
その他	2	—
特別利益合計	485	65
特別損失		
固定資産処分損	26	52
減損損失	34	7
投資有価証券評価損	22	37
関係会社出資金評価損	60	—
100周年記念事業費	304	—
その他	2	—
特別損失合計	450	96
税引前当期純利益	7,503	7,707
法人税、住民税及び事業税	2,158	1,956
法人税等調整額	△99	90
法人税等合計	2,058	2,046
当期純利益	5,444	5,660

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本 合計
		資本 準備金	その他資 本剰余金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金		利益 剰余金 合計		
						別途 積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	1,036	52	10,012	10,064	259	25,030	20,458	45,747	△1,538	55,310
当期変動額										
剰余金の配当							△768	△768		△768
当期純利益							5,444	5,444		5,444
自己株式の取得									△0	△0
自己株式の処分			293	293					63	356
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）										
当期変動額合計	－	－	293	293	－	－	4,675	4,675	63	5,032
当期末残高	1,036	52	10,305	10,358	259	25,030	25,134	50,423	△1,475	60,343

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	1,192	1,192	56,503
当期変動額			
剰余金の配当			△768
当期純利益			5,444
自己株式の取得			△0
自己株式の処分			356
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△254	△254	△254
当期変動額合計	△254	△254	4,777
当期末残高	937	937	61,280

当事業年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

(単位：百万円)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本 合計
		資本 準備金	その他資 本剰余金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金		利益 剰余金 合計		
						別途 積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	1, 036	52	10, 305	10, 358	259	25, 030	25, 134	50, 423	△1, 475	60, 343
当期変動額										
剰余金の配当							△930	△930		△930
当期純利益							5, 660	5, 660		5, 660
自己株式の取得									△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）										
当期変動額合計	－	－	－	－	－	－	4, 730	4, 730	△0	4, 729
当期末残高	1, 036	52	10, 305	10, 358	259	25, 030	29, 864	55, 153	△1, 475	65, 073

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	937	937	61,280
当期変動額			
剰余金の配当			△930
当期純利益			5,660
自己株式の取得			△0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	752	752	752
当期変動額合計	752	752	5,482
当期末残高	1,690	1,690	66,763